

看護部通信



平成19年11月号

今年も、残すところあと2ヶ月をきりました。
病院も、新たな取り組みに向けて大きく変化していています。
前進する病院に足並みを揃え、私達の看護ケアもより充実したものにしていきたいと思います。

あるナースに、入職時と今の心境を聞いたみました。
「この病院に入職した当時は、救急対応に追われるスタッフをみて暗くて怖いイメージがとてもありました。今は、実際に働いてスタッフの皆さんに優しく面白く指導して貰ってイメージが変わってききましたが、患者さんや家族も入院した時点では同じように感じる事があるかもしれないので あたたかい対応を忘れないようにしなくちゃいけないと心がけています。」
と言うように普段の彼女は、患者さんに実に優しく接しています。
初心を忘れないように懸命に取り組んでいる姿がとっても輝いている さんです。
ナースそれぞれに個性がありさまざまです。若きも熟女も年代の持ち味をいかし みんな生き生きと輝いた笑顔で頑張りましょう。

言葉のサプリメント

気持ちのいい言葉を心がける事は、人と人との最低限のマナーであり、それは、所属する組織(病院)のイメージを大きく左右するものでもあります。大切なのは、言葉に対する意識を今までより1ステップ高くする事です。同僚や患者さんとの間で気まずい思いをした経験のある人にはお勧めです。

あなたとあなたの周りが元気になる一冊です。読んでみて下さい。

著者 荻野 慶子 (東京都病院協会で販売)

病院理念 心を込めて患者様の為に
看護部理念 思いやりの心で患者様とともに